

「社会福祉科に来て」

阿蘇中央高等学校 阿蘇清峰校舎 2年

まつだ なお
松田 風央

私は今、阿蘇中央高校の社会福祉科で福祉のことについて学んでいます。私が社会福祉科に入学した理由は、親が看護師をしているため、自分も福祉や医療について学んでみようかな、というなんとなくの気持ちでした。「保育士になろうかな」という思いもありましたが、正直自分が将来何をしたいのかが定まっていませんでした。

社会福祉科に入学してみても、思っていたよりも福祉を学ぶことにやりがいを感じました。入学前は、福祉は『高齢者』というイメージが強くありましたが、他にも障がいのある方や子ども福祉など様々な分野があることを知りました。社会福祉科での学びを通して、将来は誰かの役に立てる仕事をしたいと強く思うようになりました。さらにその思いが強くなった理由は介護実習での体験です。

介護実習に行く前は、高齢者の方と関わったことがなかったため、どのような関わりをしようのか全く分かりませんでした。授業で高齢者の方とのコミュニケーションについて学んでいたものの、いざその時になると、自分が話しかけることで、利用者様が邪魔に感じるのではないかと考えてしまっていました。しかし、勇気を振り絞って話しかけてみると、笑顔でお話を返していただきました。その後、様々な利用者様と関わる中で、描いた絵をプレゼントしてくださる方や、私の名札を何回も見たり紙に書いたりして名前を覚えてくださる方、遠くから「なおちゃん。」と笑顔で手を振ってくださる方など、勇気を振り絞ったことでも嬉しい気持ちになりました。

また、利用者様から頼っていただいたり、感謝の言葉をいただいたりした時は、「実習生の私を信頼してくださっている」と胸が熱くなりました。

将来、高校を卒業後、すぐに介護職として現場で働きたい気持ちと、さらに専門的な知識や技術を習得してから現場に出たいという気持ちがあります。どちらにしても、『誰かの幸せのお手伝いがしたい』という気持ちに、変わりはありません。これからも社会福祉科での日々の学びと、残り一回の介護実習など様々な経験をもとに考えていきたいと思っています。



先生からのコメント

社会福祉科に入学して、少しずつ日々の授業や介護実習を通して福祉の魅力に気づいてくれてとても嬉しく思います。介護実習では、不安と緊張に押しつぶされそうになりながらも勇気ある一歩を踏み出したことで様々な素敵な経験に出会うことができましたね。風央さんの「だからのためにになりたい」という強い気持ちをこれからも大切に育み、成長していく姿に期待をしています。

養護老人ホーム あそ上寿園

養護老人ホームとは？

現在置かれている環境では生活が難しく、経済的に困窮している65歳以上の高齢者が市町村長の措置によって入所できる施設です。



お酒の悩みごと、福祉の困りごとなどありませんか。お悩みや不安など、お電話等で承っております。お気軽にご相談ください。

入所ご希望の方は住所地の市町村へお尋ねください。

〒869-2226 阿蘇市乙姫1600番地1
電話:0967-32-5501

広告

能登半島半島地震 DMAT 活動報告

1月20日(土)~1月27日(土)までの期間、能登半島地震の医療支援のため、阿蘇医療センターDMATチーム(医師1名、看護師2名、業務調整員2名)5名で、石川県能登地方に派遣されました。

派遣先として石川県穴水町保健医療福祉調整本部に所属し、穴水総合病院の病院支援をメインで行い、病院当直や救急患者の病院搬送、医療物資の運搬や施設の電話調査などの支援を行いました。派遣時期は地震発災後から3週間程度経過しており、医療ニーズとしても急性期から亜急性期、慢性期に至る過程での任務でした。

熊本地震とは違い、発災後3週間経過していてもインフラの整備が完全でなく、上下水道が復旧していませんでした。飲料水はもとよりトイレなど衛生面に關わる場所でも注意が必要な状態で、施設や避難所であらゆる感染症が起こり、対応に苦慮されているようでした。

今後も日本各地で大規模災害が発生する可能性があります。より適切な対応が求められる時代となっています。今回の経験を生かし、阿蘇医療圏の災害拠点病院としてさらなる医療福祉の充実を図っていきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

阿蘇医療センター 整形外科 坂本 圭



▲阿蘇医療センター DMAT 出発式



▲搬送されてきた患者への対応



▲物資の積み込み

塗装・防水工事・メンテナンス

 株式会社 井上

〒869-2302

熊本県阿蘇市三久保448番地22

web <https://www.aso-inoue.com/>

E-mail info@aso-inoue.com

塗 装
防 水

塗装内容

(屋根・壁・破風板・軒天・塀・建具・他)

防水内容

(雨漏れ調査・屋上・ベランダ・コーキング・他)

— まずは、お見積を —

もしもし 0967-32-1501

草原守り 35 年



▲竹原会長(中央)と宿利副会長

県内で社会奉仕や環境美化に取り組む人たちを熊日新聞社が表彰する熊日緑のリボン賞を「阿蘇の自然を愛護する会」が受賞しました。2月6日に会長の竹原憲朗さんと副会長の宿利タヅ子さんが市長へ受賞を報告しました。

阿蘇郡市の住民らでつくる同会は1988年発足。市内の草原の環境保全や希少植物の盗掘を防ぐためのパトロールなどを35年以上にわたり継続しています。

先進的な養豚に評価



▲大和建一さん(左)ととよ子さん(中央)

公益社団法人大日本農会が農業上の功績があった人を表彰する農事功績者表彰で、緑白綬有功章を受けた大和建一さんと大和とよ子さんが市長に受章を報告しました。

2人は経営するやまとんファームで、特定の病気を持たないSPF豚を県内で先駆けて導入。専用農場や浄化設備を整備し、SPF認定農場となりました。直営店では豚肉の加工品も販売。さまざまな功績が認められ、受章となりました。

国際コンテストで金賞



▲蔵原政和代表取締役

1月19日、国際食品コンテストで金賞を受賞した株式会社阿蘇クラファームの蔵原政和代表取締役が市長に受賞を報告しました。コンテストはDLG(ドイツ農業協会)が主催する世界最大級のもので、昨年10月に審査が行われました。

同社は低添加、無添加のハムやソーセージなど加工品を生産しており、「プレスハム」「ベーコン」「無添加ベーコン」の3品が金賞を初めて受賞しました。

絵本で学ぶ森のこと



2月9日、森林環境の重要性を伝える絵本「森のおくりもの」が小国町森林組合から市教育委員会へ贈られました。絵本は、同組合による森林環境教育の一環としてスウェーデン出身で小国町在住の絵本作家ワル・マックスさんが制作。市内の各小学校に1冊ずつ贈られるほか、一の宮・阿蘇両図書館で貸出もしています。

◀小国町森林組合の北里^{ひでとし}栄敏組合長

皮膚科

診療を再開しました

診療日 月曜 水曜 金曜

※祝日の場合は振替診療を行います。

気になる
診療日程はコチラ



医療法人社団 坂梨会 阿蘇温泉病院

【☎0967-32-0881】

広告

宝くじ助成事業で 移動図書館車を整備



(一財)自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に、共生の地域づくりをするコミュニティ助成事業を実施しています。

このコミュニティ助成事業を活用して、たくさんの本を載せて市内を巡回する移動図書館車が新しくなりました。4月からは新しい移動図書館車「あそ号」が市民の皆さまに本との出会いをお届けします。

保育園で人権教室



▲園児たちに紙芝居を読み聞かせる人権擁護委員ら

1月23日、阿蘇大津人権擁護委員協議会が坂梨保育園で園児らを対象とした人権教室を初めて開催しました。友達の良い気持ちを考えられるようになることや、思いやりの心を育み、いじめを生まない環境をつくることを目的として協議会が計画しました。

学習会ではいじめをテーマとした動画が上映されたほか、委員による紙芝居の読み聞かせもありました。紙芝居は多様性をテーマとしたもので、園児らは集中したようすで話を聞いていました。

協議会の佐藤和夫会長は「他の園でも開催したい」と話しました。

全国大会出場者

自転車

第23回ツール・ド・おおすみ サイクリング大会

【Bコース 優勝】
竹本 友哉
(阿蘇中央高2年)



▲プレゼンをする生徒

SDGs を伝えよう

2月4日、阿蘇草原保全活動センターで、市内の小中学生が身近な「持続可能な開発目標(SDGs)」について考えたことを発表するコンテストが開かれました。取材や発表にはICT(情報通信)技術を活用。工夫を凝らした手作りのスライドで示しながら来場者に伝えました。

内科 循環器科 腎臓内科 人工透析 在宅療養支援診療所 心臓リハビリテーション

当院は、生活習慣病はもちろん、心不全・狭心症・心筋梗塞・心臓弁膜症・不整脈などの心臓病や血管の病気など幅広く診療しております。また全身循環を考慮した身体に優しい人工透析も行っております。

なんでも相談できるかかりつけ医として、お一人お一人に適した医療をご提供します。何か気になる症状があるときにはいつでもご相談ください。



医療法人 坂梨ハート会

さかなしハートクリニック

阿蘇市小里249番地2
☎0967-24-6262
✉sakanashiheart@icloud.com



広告